BUFFALO 35010995 ver.04 4-01 C10-016

WS-QL シリーズ

TeraStation WS 設定ガイド

※本書では、TeraStation WS を TeraStation と表記しています。

文中の用語表記

・本書では原則として TeraStation WS、WS-QL シリーズを TeraStation と表記しています。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

Contents

Chapter 1
Windows Storage Server 画面の表示のしかた

Windows Storage Server 画面の表示のしかた

Windows Storage Server の画面は、次の手順で表示することができます。

NOTE： Mac OS をお使いの場合、あらかじめ Microsoft 社ホームページ http://www.microsoft.com/japan/mac/products/remote-desktop/default.mspx から **「Remote Desktop Connection Client for Mac 2**(Mac OS X 10.3.9 をお使いの場合、バージョン 1.0.3)」をダウンロードし、インストールしてください。インストールしないとリモートデスクトップで操作することができません（TeraStation の設定を変更することはできません）。

1 デスクトップの［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。

NOTE：
- Windows では、デスクトップの [BUFFALO NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。
- Mac OS では、Dock 内の [NAS Navigator2] アイコンをクリックします。

2

TeraStation のアイコンを右クリック (Mac OS では、コントロールキーを押しながらクリック) し、表示されたメニューから [リモートデスクトップを開く] を選択します。

NOTE：
- LinkStation、TeraStation が合計 2 台以上同一ネットワークに接続されているときは、アイコンが複数表示されます。設定画面を表示したい TeraStation を選択してください。
- TeraStation のアイコンを選択すると、IP アドレスなど TeraStation の個別情報が確認できます。
- 「接続先のコンピュータの ID を確認できません」と表示されたときは、[はい] または [続行] をクリックしてください。

3

ユーザー名、パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

NOTE： 設定画面を表示するときは、次のユーザー名、パスワードを入力してください。

> ユーザー名：**Administrator**
>
> パスワード：**password**
>
> ログイン後、セキュリティーのためパスワードは変更してください。

4 リモートデスクトップの画面内で Windows Storage Server のデスクトップ画面が表示されます。

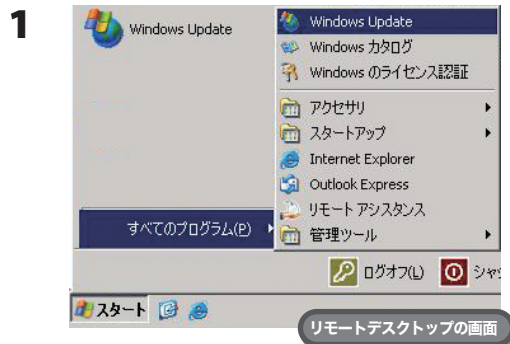
以上で Windows Storage Server 画面の表示は完了です。

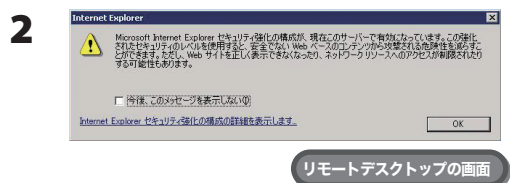
Chapter 2
Windows Update(Windows Storage Server)

Windows Update

NOTE：Windows Update を行うには、TeraStation がインターネットに接続されている必要があります。

セキュリティーのため、Windows Storage Server の Windows Update を次のようにおこなってください。

1

Windows Storage Server 上で [スタート]-[すべてのプログラム]-[Windows Update] をクリックします。

2

「Microsoft Internet Explorer セキュリティ強化の構成が、現在このサーバーで有効になっています。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

3

「このソフトウェアをインストールしますか？」と表示されたら、[インストールする] をクリックします。
Windows Update を行うために必要な Internet Explorer のプラグインをインストールします。

4

「最新の Windows Update ソフトウェアを入手してください。」と表示されたら、[今すぐインストール] をクリックします。

5

「ようこそ　Windows Update へ」と表示されたら、[高速] をクリックします。

6

「高速インストール」と表示されたら、[更新プログラムのインストール] をクリックします。

以降は画面の指示にしたがってアップデートしてください。

以上で Windows Update は完了です。

NOTE：Windows Storage Server に市販のウィルス対策ソフトウェアをインストールしてください。

弊社では以下のウィルス対策ソフトウェアでの動作を確認しています。

・Trend Micro ビジネスセキュリティ

・ウイルスバスター　コーポレートエディション　サーバー版

インストールには、TeraStation の USB コネクターに USB CD/DVD ドライブを接続してウィルス対策ソフトウェアの CD をセットして行ってください。

NOTE：本製品では Windows Storage Server のグループポリシーの [ユーザーの構成]-[管理用テンプレート]-[ネットワーク]-[ネットワーク接続] を以下のように変更しています。

・[TCP/IP 詳細設定の構成を禁止する (Prohibit TCP/IP advanced configuration)] を有効に設定しています。

・[リモート アクセス接続を禁止する (Prohibit delection of remote access connections)] を有効に設定しています。

・[LAN 接続を有効化 / 無効化する許可 (Ability Enable/Disable a LAN connection)] を無効に設定しています。

・[Administration 用の Windows 2000 のネットワーク接続設定を有効にする (Enable Windows 2000 Network Connections settings for Administrators)] を有効に設定しています。

※グループポリシーの画面は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行] をクリックし、gpedit.msc と入力して [OK] をクリックすると表示されます。

Chapter 3
BUFFALO ツールについて

BUFFALO ツールの起動手順

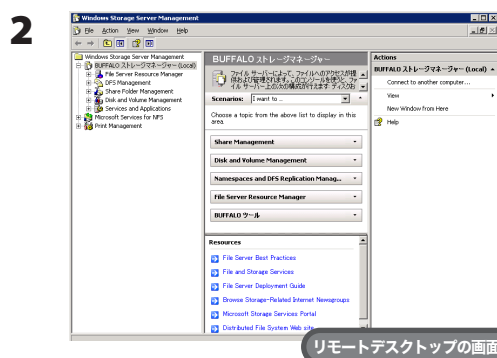
BUFFALO ツールの起動は、以下の手順でおこないます。

1

Windows Storage Server 上で [スタート]-[管理ツール]-[Windows Storage Server Management] をクリックします。

NOTE： ・Windows Storage Server ログイン時には、自動的に BAFFFALO ツールが画面に表示されます。

・デスクトップ画面にある Nas.msc アイコン Nas.msc をダブルクリックしても Windows Storage Server Management を起動することができます。

2

[BUFFALO ツール] をダブルクリックします。

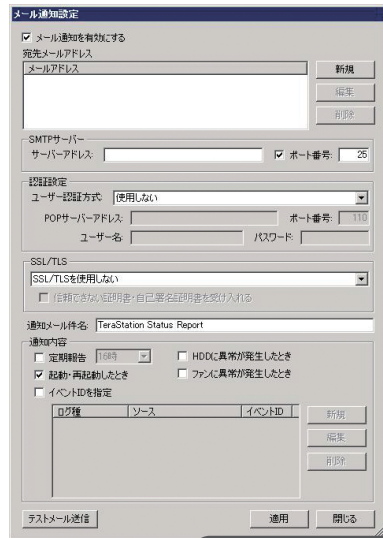
3

[BUFFALO ツール] が表示されます。

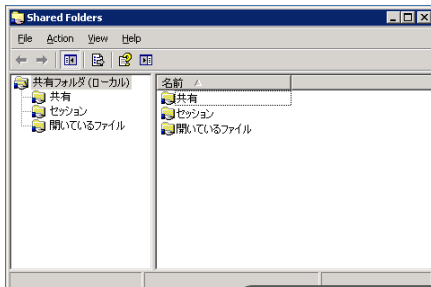
NOTE: BUFFALO ツールには、次の項目があります。

・メール通知設定
・共有フォルダーの作成
・RAID Builder
・I'm here
・LCD 表示設定
・ローカルユーザーとグループ (ローカル)
・BUFFALO サポートサイト

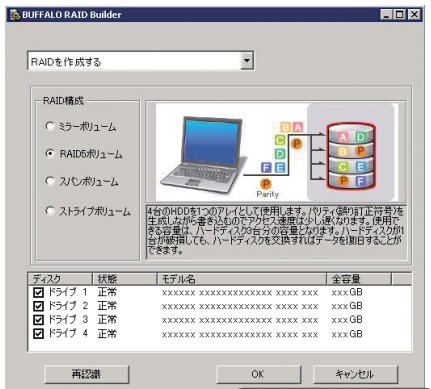
以上で BUFFALO ツール起動は完了です。

メール通知設定

BUFFALO ツールのメール通知設定では、TeraStation の設定を変更したときや異常が発生したとき、指定のメールアドレスにメッセージを送信するよう設定することができます。

詳しくは P.27 をご参照ください。

共有フォルダーの作成

[共有] を右クリックして表示されるメニューから [新しい共有] をクリックすると [フォルダの共有ウィザード] が表示されます。共有フォルダーを作成するときは、[フォルダの共有ウィザード] の指示にしたがって操作してください。

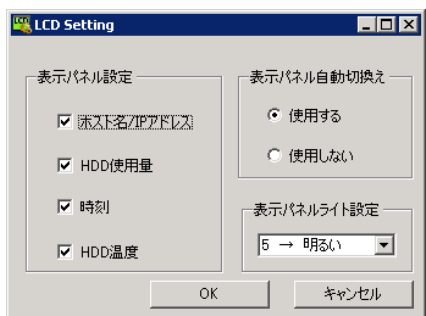
詳しくは P.25 をご参照ください。

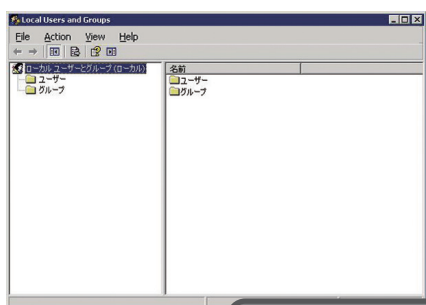
RAID Builder

RAID 構成を変更するときは、RAID Builder を使用します。
詳しくは P.9 をご参照ください。

I’m here

[OK] をクリックすると TeraStation からメロディーが鳴ります。複数台 TeraStation を管理している場合、どの TeraStation を設定しているのかを知りたいときにお使いください。

LCD 表示設定

TeraStation に前面の液晶ディスプレイの表示について設定します。
設定項目は次の通りです。

表示パネル設定	TeraStation 前面の液晶ディスプレイ表示させる項目を [ホスト名 /IP アドレス]、[HDD 使用量]、[時刻]、[HDD 温度] から選択します。
表示パネル自動切換え	TeraStation 前面の液晶ディスプレイ表示させる項目を自動的に一定間隔で切り替えて表示するかしないかを設定します。
表示パネルライト設定	液晶ディスプレイのバックライトの明るさを 5 段階調整します。
OK	設定した内容を適用します。
キャンセル	設定した内容をキャンセルし、画面を閉じます。

ローカルユーザーとグループ (ローカル)

[ユーザー] を右クリックして表示されるメニューから [新しいユーザー] をクリックするとユーザーを新規に作成することができます。
[グループ] を右クリックして表示されるメニューから [新しいグループ] をクリックするとグループを新規に作成することができます。

BUFFALO サポートサイト

インターネットブラウザーでお客様サポートのホームページ (http://buffalo.jp/support_s/) を表示します。

NOTE：
- **BUFFALO サポートサイトを表示するには、TeraStation がインターネットに接続されている必要があります。**
- **「Internet Explorer セキュリティ強化の構成によってブロックされています。」と表示されたときは、[閉じる] → [OK] をクリックしてください。**

Chapter 4
ボリュームを作成する

各モードの解説

各使用モードの特長は次のとおりです。

NOTE: ・使用モードを変更すると、ハードディスク内のデータは全て消去されます。変更する前に大切なデータのバックアップを必ずとってください。
・本書では､「復旧」とは､TeraStation 内の状態 (データを含む) を故障が発生する前に戻すことを表しています。故障したハードディスクからデータを読み出すことではありません。
・使用モードの変更は、未割り当て領域に対してのみ設定できます。未割り当て領域がないときは、ボリュームを削除し未割り当て領域を確保してから操作してください。

● RAID5 ボリューム

4 台のハードディスクの各未割り当て領域を 1 つのアレイとして使用します。パリティ (誤り訂正符号) を生成しながら書き込むのでアクセス速度は少し遅くなります。
RAID アレイの中のハードディスク 1 台が故障してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます (2 台以上故障したときは復旧できません)。また RAID 再同期中はファイル転送速度が数時間低下します。あらかじめご了承ください。

●ミラーボリューム

2 台のハードディスクの各未割り当て領域を 1 つのアレイとして使用します。同じデータを 2 台のハードディスクに同時に書き込んでいるのでペアを構成する一方のハードディスクが故障してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます (アレイを構成する両方のハードディスクが故障した場合はデータを復旧することはできません)。また RAID 再同期中はファイル転送速度が数時間低下します。あらかじめご了承ください。

●ストライプボリューム

ストライプボリュームは、4 台のハードディスクの未割り当て領域を組み合わせて作成される 1 つの大きな論理ボリュームです。ストライプボリュームは、データを複数のハードディスクにストライプ化する RAID-0 を使用します。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。ハードディスクが故障した場合、データを復旧することはできません。

●スパンボリューム

スパンボリュームとは、複数のハードディスク上の未割り当て領域を結合して 1 つの論理ボリュームを生成したものです。これにより、複数のハードディスクを持つシステム全ての領域およびドライブ文字をより有効に使用できるようになります。ハードディスクが故障した場合、データを復旧することはできません。

●シンプルボリューム

TeraStation に内蔵されているハードディスクを個々のドライブとして使用します。ハードディスクが故障した場合、故障したドライブのデータは復旧することはできません。

ボリュームの削除

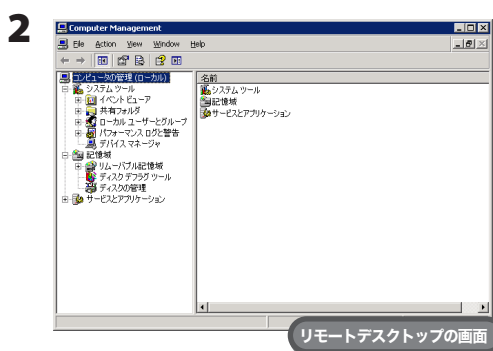
ボリュームを作成するには、TeraStation のハードディスク内に未割り当て領域がある必要があります。未割り当て領域がないときは、既存のボリュームを削除してください。

1

[マイコンピュータ] を右クリックし、表示されたメニューから [管理] を選択します。

2

[ディスクの管理] をクリックします。

3

削除するボリュームを右クリックし、表示されたメニューから [ボリュームの削除] を選択します。

NOTE: ハードディスクの使用モードを変更すると、ハードディスク内のデータは全て消去されます。変更する前に大切なデータのバックアップを必ずとってください。

4 以降は画面の指示にしたがって操作します。

以上でボリュームの削除は完了しました。

RAID5 ボリューム

1

BUFFALO ツールの [RAID Builder] をクリックします。

2

1 [RAID を作成する] を選択します。

2 [RAID 構成] から [RAID5 ボリューム] を選択します。

3 ドライブ 1、2、3、4 の必ず全てを選択します。

4 [OK] をクリックします。

NOTE : RAID 再同期中はファイル転送速度が数時間 (1TB あたり約 5 時間かかります) 低下します。

3 以降は画面の指示にしたがって操作します。

NOTE : 使用できる容量は、4 台のハードディスクの各未割り当て領域の最小サイズの合計の 3/4 となります。

例）ディスク 1:50GB 余り / ディスク 2:80GB 余り / ディスク 3:58GB 余り / ディスク 4:100GB 余り
RAID5 ボリュームで使用できる容量は、（50GB × 4 台) × 3/4 ＝ 150GB となります。

以上で RAID5 ボリュームの設定が完了しました。
続いて P.25 の手順を参照して共有フォルダーを作成してください。

ミラーボリューム

1

BUFFALO ツールの [RAID Builder] をクリックします。

2

1 [RAID を作成する] を選択します。

2 [RAID 構成] から [ミラーボリューム] を選択します。

3 ドライブ 1、2、3、4 のいずれか 2 つを必ず選択します。

4 [OK] をクリックします。

NOTE： RAID 再同期中はファイル転送速度が数時間 (1TB あたり約 5 時間かかります) 低下します。

3 **以降は画面の指示にしたがって操作します。**

NOTE： 使用できる容量は、2 台のハードディスクの各未割り当て領域の最小サイズとなります。

例）ディスク 3:58GB 余り / ディスク 4:100GB 余り
ミラーボリュームで使用できる容量は、58GB となります。

以上でミラーボリュームの設定が完了しました。
続いて P.25 の手順を参照して共有フォルダーを作成してください。

ストライプボリューム

1

BUFFALO ツールの [RAID Builder] をクリックします。

2

1 [RAID を作成する] を選択します。

2 [RAID 構成] から [ストライプボリューム] を選択します。

3 ドライブ 1、2、3、4 のチェックボックスを必ず全てクリックし、チェックマークを表示させます。

4 [OK] をクリックします。

3 **以降は画面の指示にしたがって操作します。**

NOTE： 使用できる容量は、未割り当て領域の最小サイズ× 4 台のハードディスクとなります。

例）ディスク 1:50GB 余り / ディスク 2:80GB 余り / ディスク 3:58GB 余り / ディスク 4:100GB 余り
ストライプボリュームで使用できる容量は、50GB × 4 台＝ 200GB となります。

以上でストライプボリュームの設定が完了しました。
続いて P.25 の手順を参照して共有フォルダーを作成してください。

スパンボリューム

1

BUFFALO ツールの [RAID Builder] をクリックします。

2

1 [RAID を作成する] を選択します。

2 [RAID 構成] から [スパンボリューム] を選択します。

3 ドライブ 1、2、3、4 のチェックボックスを必ず全てクリックし、チェックマークを表示させせます。

4 [OK] をクリックします。

3 **以降は画面の指示にしたがって操作します。**

NOTE：使用できる容量は、4 台のハードディスクの各未割り当て領域の合計となります。

例）ディスク 1:50GB 余り / ディスク 2:80GB 余り / ディスク 3:58GB 余り / ディスク 4:100GB 余り
スパンボリュームで使用できる容量は、50GB+80GB+58GB+100GB ＝ 288GB となります。

以上でスパンボリュームの設定が完了しました。
続いて P.25 の手順を参照して共有フォルダーを作成してください。

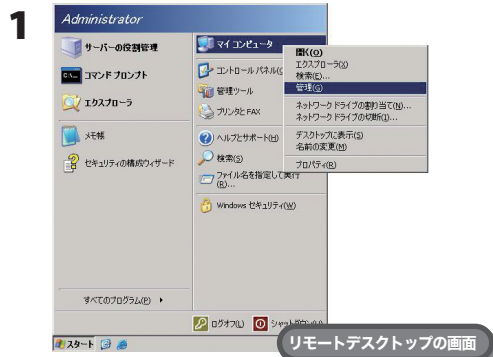
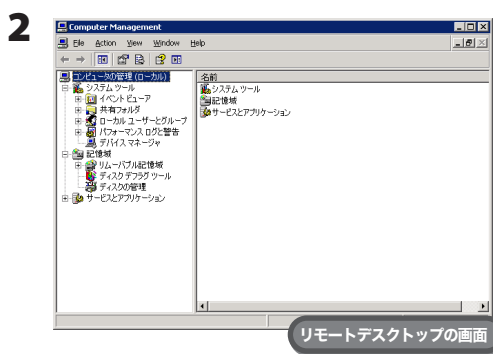
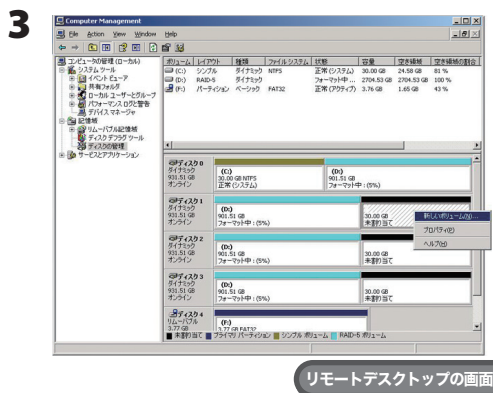
シンプルボリューム

1

[マイコンピュータ] を右クリックし、表示されたメニューから [管理] を選択します。

2

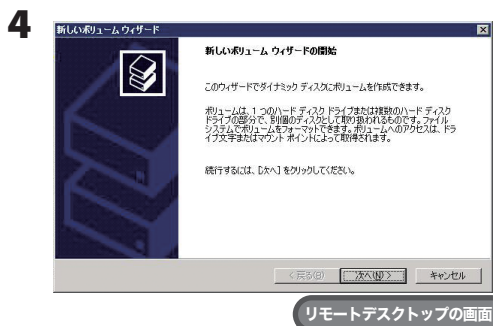
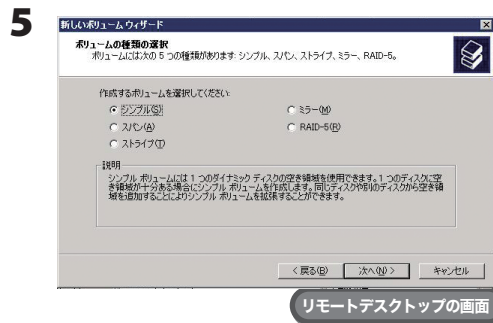
[ディスクの管理] をクリックします。

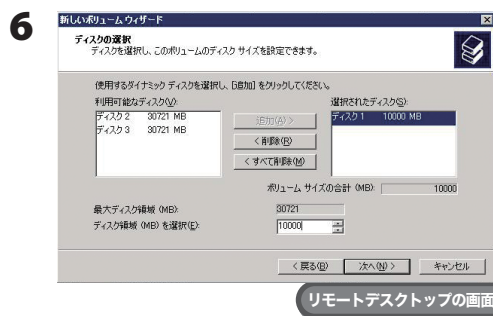
3

未割り当て領域を右クリックし、表示されたメニューから [新しいボリューム] を選択します。

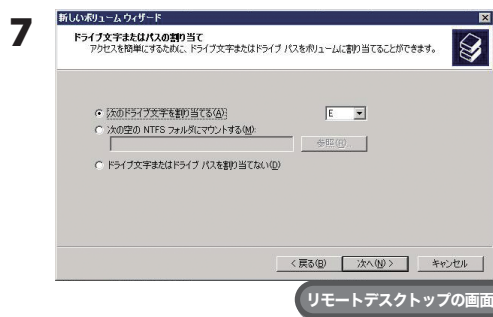
NOTE: **ハードディスクの使用モードを変更すると、ハードディスク内のデータは全て消去されます。変更する前に大切なデータのバックアップを必ずとってください。**

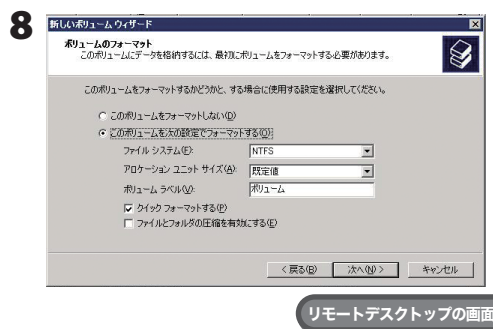
4

[次へ] をクリックします。

5

[シンプル] を選択し、[次へ] をクリックします。

6

確保する用量を入力し、[次へ] をクリックします。

7

[次のドライブ文字を割り当てる] を選択し、[次へ] をクリックします。

8

[このボリュームを次の設定でフォーマットする]、[クイックフォーマットする] を選択し、[次へ] をクリックします。

9 以降は画面の指示にしたがって操作します。

以上でシングルボリュームの設定が完了しました。
続いて P.25 の手順を参照して共有フォルダーを作成してください。

Chapter 5
各種設定

日時の設定

Windows Storage Server の時計を合わせます。

1

Windows Storage Server のタスクトレイに表示されている時刻をダブルクリックします。

2

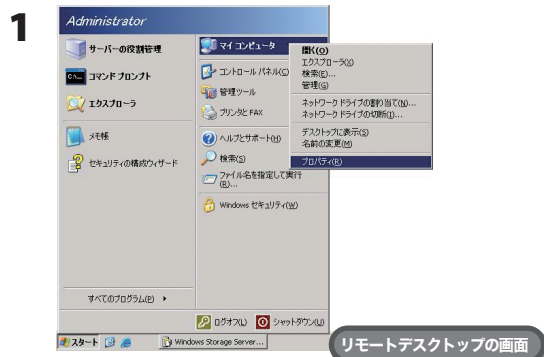
日付と時刻に現在の日時を選択し、[OK] をクリックします。

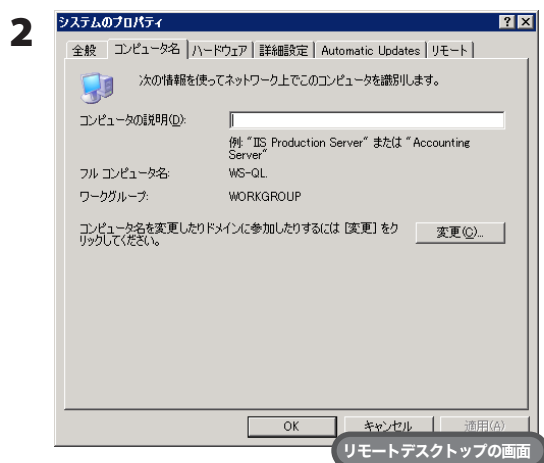
NOTE : [インターネット時刻] タブをクリックし、[自動的にインターネット時刻サーバーと同期する] を選択すると自動で時刻を取得することができます

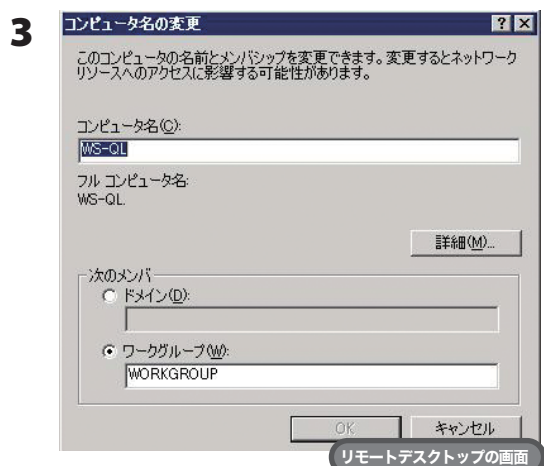
以上で日時の設定は完了です。

サーバー名・ワークグループ / ドメインの変更

サーバー名・ワークグループ / ドメインの変更
TeraStation のサーバー名・ワークグループ / ドメインの変更は次のように行ってください。

1

[マイコンピュータ] を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] を選択します。

2

[コンピュータ名] → [変更] の順にクリックします。

3

コンピュータ名、ワークグループ名またはドメイン名を入力し、[OK] をクリックします。

NOTE： コンピュータ名を 16 文字以上に設定した場合は、TeraStation 名は 16 文字までの表示になります (17 文字目以降は表示されません)。

以上でサーバー名・ワークグループ / ドメインの変更は完了です。

パスワードの変更

TeraStation の管理者パスワードは、セキュリティーのため出荷時設定から変更することをおすすめします。

ログオンしているアカウントのパスワードの変更

1 Windows Storage Server 上で [スタート]-[Windows セキュリティ] をクリックします。

2

[パスワードの変更] をクリックします。

3

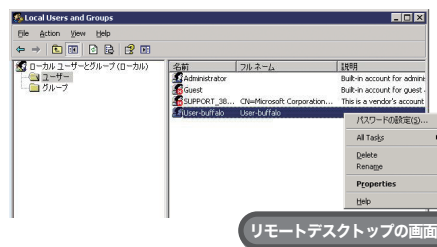
[古いパスワード] に「password」、[新しいパスワード] および [新しいパスワードの確認入力] に任意のパスワードを入力します。

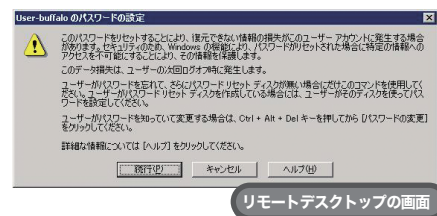
以上でパスワードの変更は完了です。

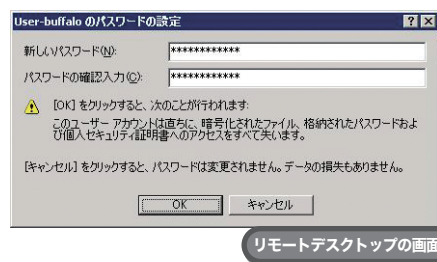
ログオンしているアカウント以外のパスワードの変更

1

BUFFALO ツールの [ローカルユーザーとグループ (ローカル)] をクリックします。

2

パスワードを変更したいユーザーを右クリックし、表示されたメニューから [パスワードの設定] をクリックします。

3

[続行] をクリックします。

4

[新しいパスワード][パスワードの確認入力] を入力し、[OK] をクリックします。

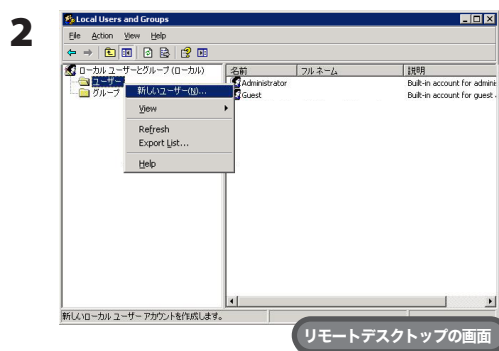
以上でパスワードの変更は完了です。

ユーザーの追加

ユーザーの追加は次のように行ってください。

1

BUFFALO ツールの [ローカルユーザーとグループ (ローカル)] をクリックします。

2

[ユーザー] を右クリックし、表示されたメニューから [新しいユーザー] をクリックします。
新しいユーザー画面が表示されます。

3

ユーザー名、パスワード等を入力し、[作成] をクリックします。

以上でユーザーの追加は完了です。

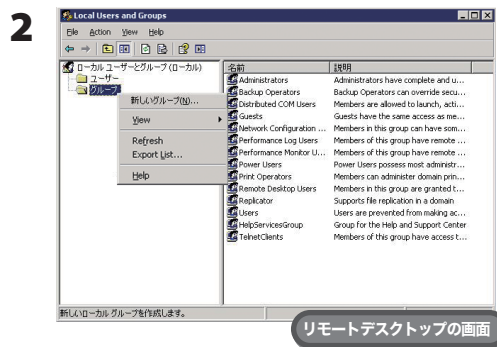
NOTE：Administrators グループに属していないアカウントは、リモートデスクトップで接続することができません。

グループの追加

グループの追加は次のように行ってください。

1

BUFFALO ツールの [ローカルユーザーとグループ (ローカル)] をクリックします。

2

[グループ] を右クリックし、表示されたメニューから [新しいグループ] をクリックします。
新しいグループ画面が表示されます。

3

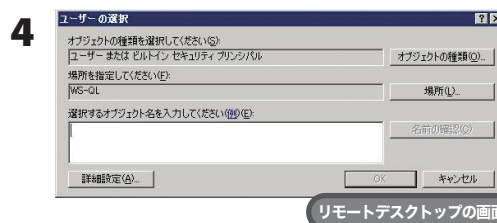
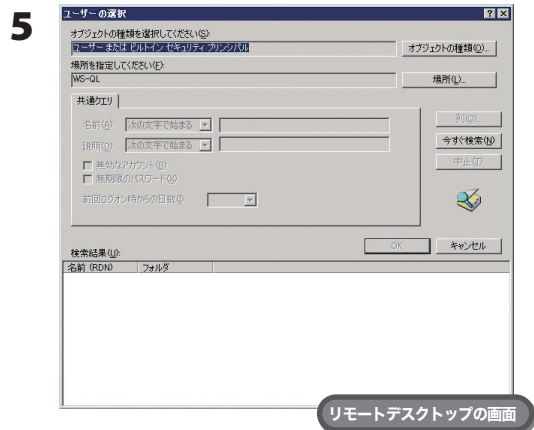
グループ名、説明を入力し、[追加] をクリックします。

4

[詳細設定] をクリックします。

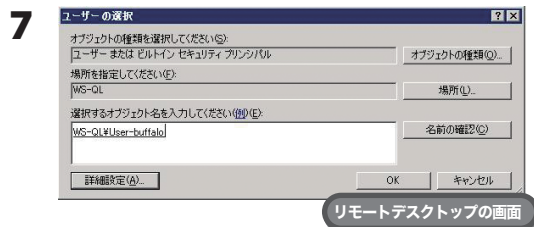
5

[今すぐ検索] をクリックします。

6

グループに登録するユーザーを選択し、[OK] をクリックします。

7

[OK] をクリックします。

8

[閉じる] をクリックします。

以上でグループの追加は完了です。

ボリュームのフォーマット

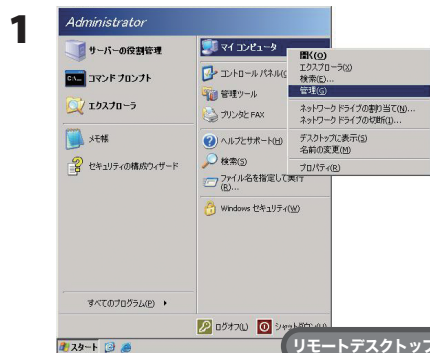
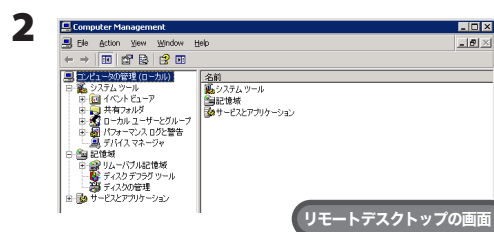
ボリュームをフォーマットするときは次の手順で行ってください。

1

[マイコンピュータ] を右クリックし、表示されたメニューから [管理] を選択します。

2

[ディスクの管理] をクリックします。

3

フォーマットをするボリュームを右クリックし、表示されたメニューから [フォーマット] を選択します。

NOTE: フォーマットを実行すると、ハードディスク内のデータは全て消去されます。変更する前に大切なデータのバックアップを必ずとってください。

4 **以降は画面の指示にしたがって操作します。**

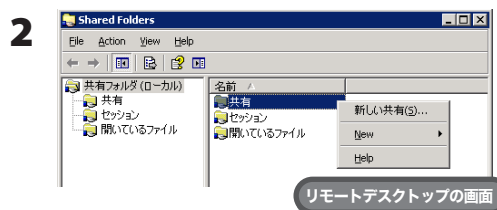
以上でボリュームのフォーマットは完了しました。

共有フォルダーの作成

初期設定では共有フォルダーが設定されていません。あらかじめ次の手順で共有フォルダーを作成します。

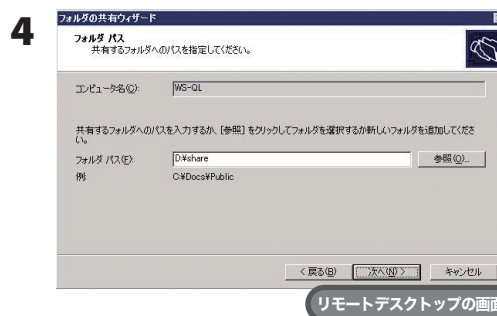
1

BUFFALO ツールの [共有フォルダーの作成] をクリックします。

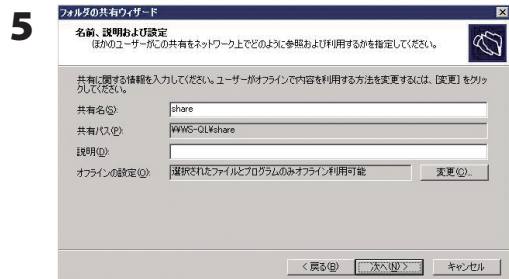
2

[共有] を右クリックし、表示されたメニューから [新しい共有] をクリックします。
[フォルダの共有ウィザード] が表示されます。

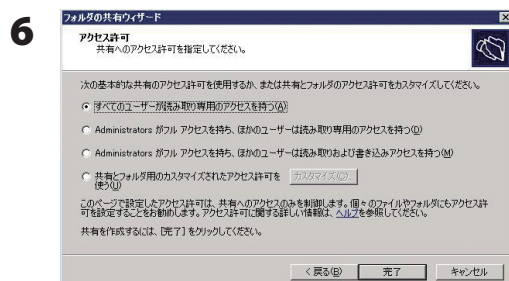
3

[次へ] をクリックします。

4

既存のフォルダーのパスまたは新しく作成するフォルダーのパスを入力し、[次へ] をクリックします。

NOTE：「指定したパスが見つかりません。作成しますか？」と表示されたときは、[はい] をクリックしてください。

5

共有名と説明を入力し、[次へ] をクリックします。

6

共有フォルダーのアクセス制限の種類を選択し、[完了] をクリックします。

7

[閉じる] をクリックします。

NOTE：・ゲストアカウントを有効にする場合は、次の手順を行ってください。

1. [BUFFALO ツール] 内にある [ローカルユーザーとグループ (ローカル)] をクリックします。

2. [ローカルユーザーとグループ (ローカル)]-[ユーザー] を選択し、[名前] から [Guest] をダブルクリックします。Guest のプロパティが表示されます。

3. [全般] タブ -[アカウントを無効にする] をクリックし、チェックボックスのチェックマークを非表示にします。

4. [OK] をクリックします。

・共有フォルダーにアクセスできるようにするには、共有フォルダーのアクセス許可を設定する必要があります。
共有フォルダーのアクセス許可は、共有フォルダーを右クリックし、表示されたメニューから [Properties]-[セキュリティ] をクリックしてください。
[グループ名またはユーザー名] 一覧からアクセス許可を設定したいユーザーまたはグループの追加をしてください (グループやユーザーはあらかじめ作成しておく必要があります)。全てのユーザーからアクセスを許可する場合は Guest を追加し、Guest の「Administrators のアクセス許可」をフルコントロールに変更してください。

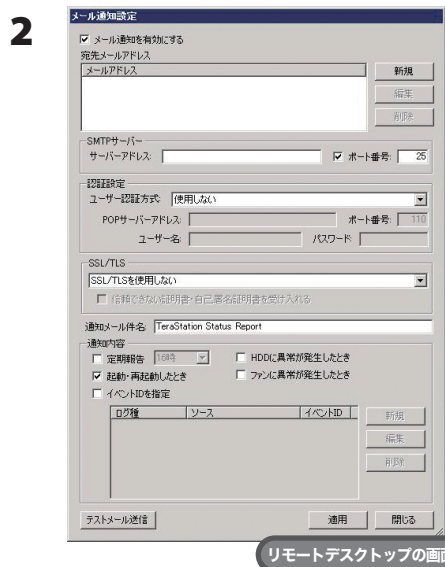
以上で共有フォルダーの作成は完了です。

メール通知設定

BUFFALO ツールのメール通知設定では、TeraStation の設定を変更したときや異常が発生したとき、指定のメールアドレスにメッセージを送信するよう設定することができます。

1

BUFFALO ツールの [メール通知設定] をクリックします。

2

1 [メール通知を有効にする] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。

2 宛先メールアドレスの [新規] をクリックし、送信先メールアドレスを入力します。最大 5 つのアドレスまで送信できます。
NOTE： 誤ったメールアドレスを入力しないようご注意ください。

3 SMTP サーバアドレス、SMTP ポート番号を入力します。

4 ユーザー認証方式（使用しない /pop before smtp/login（SMTP-AUTH）/cram-md5（SMTP-AUTH））を選択し、ユーザー名、パスワードを入力します。
NOTE：
- pop before smtp を使用しているときは、POP3 サーバーアドレス、POP3 ポート番号を入力します。
- パスワードに　'(シングルクォーテーション) を使用することはできません。

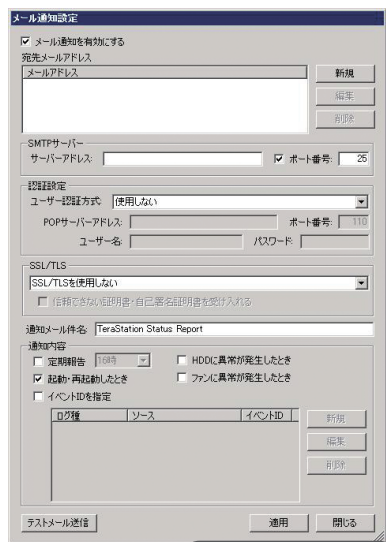
5 保護された接続を使用する場合、その方式（SSL/TLS）を選択します。

6 通知メールの件名を入力します。
NOTE： 半角英数字にしてください。それ以外では文字化けすることがあります。

7 通知内容を選択します。
[定期報告] では選択した時刻に TeraStation の報告をメール送信します。
[HDD に異常が発生したとき] では TeraStation のハードディスクに異常が発生した時に送信します。
[起動・再起動したとき] ではシステムの起動、再起動時に送信します。
[ファンに異常が発生した時] では TeraStation のファンに異常が発生した時に送信します。
[イベント ID を指定] では、ログ種、ソース、イベント ID を指定することができます。

8 ［ 適用］ をクリックします。

以上でメール通知機能の設定は完了です。

NOTE：メール通知設定画面での設定項目は次のとおりです。

項目	説明
メール通知を有効にする	メール通知機能を使用する場合、チェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。
宛先メールアドレス	[新規] をクリックすると新しいアドレスを登録します。アドレスを選択して [編集] をクリックするとアドレスを変更することができます。アドレスを選択して [削除] をクリックするとアドレスを削除します。 ※最大 5 つのアドレスを送信先として登録できます。
SMTP サーバー	[サーバーアドレス] には、SMTP サーバーアドレス（メールサーバーアドレス）を入力します。 [ポート番号] には SMTP ポート番号を入力します。 ※指定のない場合は標準のポート番号（25）が使用されます。また、ユーザー認証方式を「使用しない」や「pop before smtp」に設定した場合は、この欄に入力した番号にかかわらず、標準のポート番号（25）が使用されます。
ユーザー認証方式	ユーザー認証方式を、[POP before SMTP][LOGIN(SMTP-AUTH)][CRAM-MD5(SMTP-AUTH/CRAM-MD5)] から選択します。 [POP before SMTP] を選択した場合は、POP サーバーアドレス (メールサーバーアドレス)、ポート番号を入力します。 ※指定のない場合、標準ポート (110) が使用されます。 [ユーザー名] では認証で使用するユーザー名を入力します。 [パスワード] では認証で使用するパスワードを入力します。
SSL/TLS	ユーザー認証方式に「LOGIN(SMTP-AUTH)」「CRAM-MD5(SMTP-AUTH/CRAM-MD5)」を選択した際に、「SSL」「TLS」のどちらを用いるか指定します。
通知メール件名	送信するメールの件名を指定します。 ※半角文字にしてください。全角文字を使うと文字化けすることがあります。
通知内容	メール通知で送信する内容を選択します。 [定期報告] では選択した時刻に TeraStation のハードディスク状態を送信します。 [HDD に異常が発生したとき] では TeraStation のハードディスクに異常が発生した時に送信します。 [起動・再起動したとき] ではシステムの起動、再起動時に送信します。 [ファンに異常が発生した時] では TeraStation のファンに異常が発生した時に送信します。 [イベント ID を指定] では、ログ種、ソース、イベント ID を指定することができます。
テストメール送信	設定した内容でテストメールを送信します。
適用	設定した内容を適用します。
閉じる	メール通知設定の画面を閉じます。

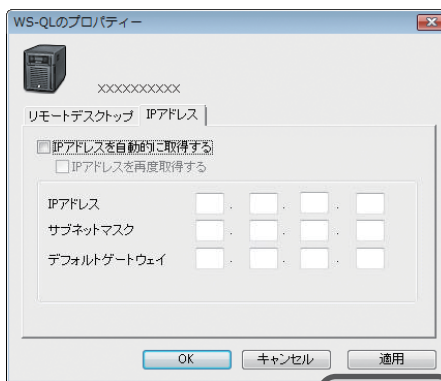
IP アドレスの変更

IP アドレスの変更は、次の手順でおこなうことができます。

1

TeraStation のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。
画面は Windows で実行した例です。

NOTE : Mac OS の場合は、コントロールキーを押しながら TeraStation のアイコンをクリックし、[機器設定画面を開く]-[IP アドレス] をクリックします。

2

1 [IP アドレス] タブをクリックします。
画面は Windows で実行した例です。

2 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。
画面は Windows で実行した例です。

NOTE: 設定が分からない方は、[IP アドレスを自動的に取得する] をクリックしてチェックマークを表示させてください。

3 [OK] をクリックします。

NOTE: ユーザー名と管理者パスワードの入力を求められたときは、TeraStation のパスワード (出荷時設定では、ユーザー名：Administrator、パスワード：password となっています) を入力してください。

以上で IP アドレスの変更は完了です。

Chapter 6
NAS Navigator2 について

各メニュー解説

NAS Navigator2 を使えば、TeraStation の画面 (Windows Storage Server) をリモートデスクトップで表示したり、IP アドレスを変更したり、容量を簡単に知ることができます。

TeraNavigator でセットアップすると、NAS Navigator2 がインストールされます。

NAS Navigator2 は OS 起動時にタスクトレイに常駐します。

起動方法： ・デスクトップにある［BUFFALO NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックします。
・［スタート］－［(すべての) プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator2］－［BUFFALO NAS Navigator2］をクリックします。

画面：

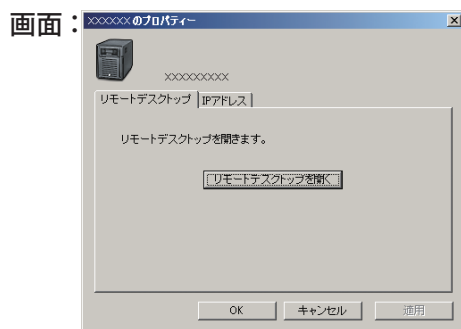
項目		機能
メニュー	ネットワークドライブの割り当て (※)	本項目を本製品で選択することはできません (グレー色に表示されています)。
	ネットワークドライブの切断 (※)	本項目を本製品で選択することはできません (グレー色に表示されています)。
	すべての TeraStation/LinkStation のドライブの割り当て	検索された全ての TeraStation 共有フォルダーをネットワークドライブに割り当てます。共有フォルダーを作成していないと選択できません。
	TeraStation/LinkStation のショートカットの作成 (※)	TeraStation に共有フォルダーを作成している場合、ショートカットアイコンをデスクトップに作成します。
	常に常駐する	OS 起動時に NAS Navigator2 をタスクトレイに常駐させます。
	エラー情報を通知する	エラーが発生した際にタスクトレイの NAS Navigator2 アイコンからエラーメッセージを表示します。
	デフォルトブラウザーを使う	本製品では使用しません。
	フォルダー連結	TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを連結して表示するための設定を行います。
	フォルダー同期	TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを同期して表示するための設定を行います。
	プロパティー (※)	選択した TeraStation のプロパティー画面を開きます。
	閉じる	NAS Navigator2 の操作画面を閉じます。
表示	表示	[アイコン] : アイコンで簡単に表示します。 [詳細] : 名称、製品名、ワークグループ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを表示します。
	並び替え順序	複数 TeraStation が見つかったときの表示順序を次から選択します。 名称、製品名、ワークグループ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ
開く (※)		表示された TeraStation の共有フォルダーを開きます。
更新		TeraStation を再検索します。
フォルダー連結		TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを連結して表示するための設定を行います。
フォルダー同期		TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを同期して表示するための設定を行います。
I'm here(※)		クリックすると TeraStation からメロディーが鳴ります (対応していない製品では選択できません)。

※ TeraStation のアイコンをクリックしないと表示されません。

NAS Navigator2 を最小化した場合、タスクトレイに常駐している NAS Navigator2 のアイコンから次の操作ができます。

画面：

メニュー項目		機能
TeraStation 名	共有フォルダーを開く	TeraStation の共有フォルダーを開きます。
	リモートデスクトップを開く	リモートデスクトップで Windows Storage Server の画面を表示します。
	プロパティー	選択した TeraStation のプロパティー画面を開きます。
	ショートカットの作成	検索された TeraStation の共有フォルダー（share）へのショートカットアイコンをデスクトップに作成します。
	I'm here	TeraStation からメロディーが鳴ります (対応していない製品では選択できません)。
再検索		TeraStation を再検索します。
ウィンドウ表示		NAS Navigator2 の操作画面を表示します。
フォルダー連結		TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを連結して表示するための設定を行います。
フォルダー同期		TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルドライブにあるフォルダーを同期して表示するための設定を行います。
終了		NAS Navigator2 を終了します。

TeraStation のプロパティー画面では、次の操作ができます。

画面：

メニュー項目	機能
リモートデスクトップ	[リモートデスクトップを開く] をクリックすると TeraStation の画面 (Windows Storage Server) をリモートデスクトップで表示します。
IP アドレス	[IP アドレスを自動的に取得する] にチェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に割り当てられるようにします。ネットワーク内に DHCP サーバーが無いときは、この機能は使用できません。 [IP アドレスを再取得する] にチェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバーから再度取得します。 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で固定入力することもできます。

フォルダー連結機能

＜フォルダー連結機能とは＞

フォルダー連結機能では、TeraStation の共有フォルダーへのショートカットをデスクトップやマイドキュメント内のローカルフォルダーに登録することができます。

フォルダー機能を使用するには、次の手順で設定します。

1 **デスクトップの [BUFFALO NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。**

NAS Navigator2 が起動します。

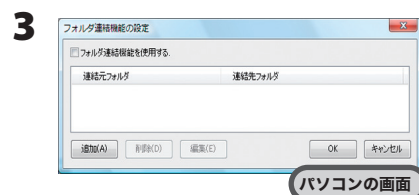
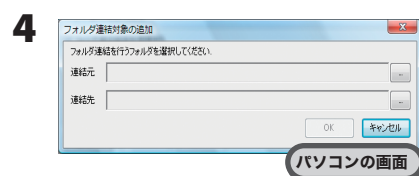
2

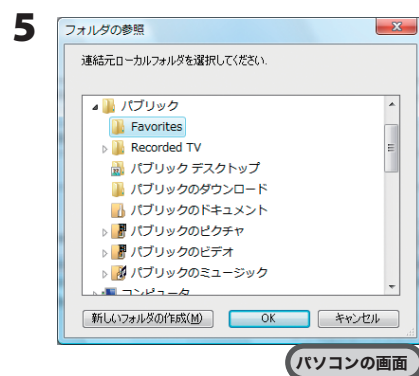
[フォルダー連結] をクリックします。

NOTE: Windows 7/Vista/XP/2000、Windows Server2003 以外の OS では、[フォルダー連結] は表示されません。

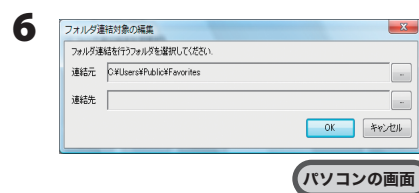
3

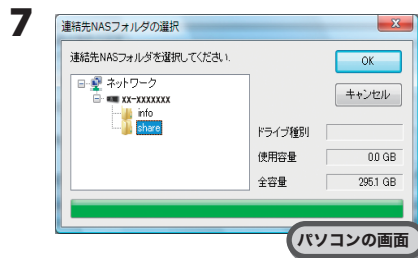
[追加] をクリックします。

4

[連結元] の右端にあるボタンをクリックします。

5

1 連結元にするパソコンのローカルドライブ内のフォルダーを選択します。

2 [OK] をクリックします。

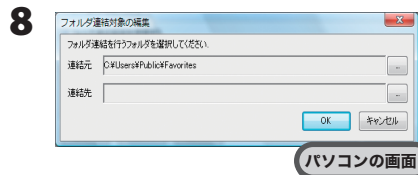
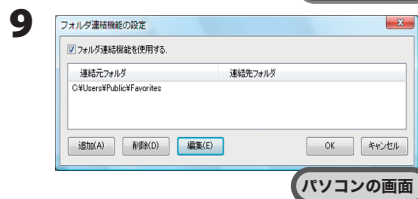
6

[連結先] の右端にあるボタンをクリックします。

7

1 連結先にする TeraStation 内のフォルダーを選択します。

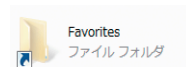
2 [OK] をクリックします。

8

[OK] をクリックします。

9

[OK] をクリックします。

以上でフォルダー連結機能の設定は完了です。

Windows Vista ではフォルダー連結したフォルダーは右図のように矢印が表示されます。解除した場合、矢印は消えます。

NOTE: ・フォルダー連結設定できる数は最大 10 個です。

・1 つの連結先フォルダーに複数連結元フォルダーを指定することはできません。

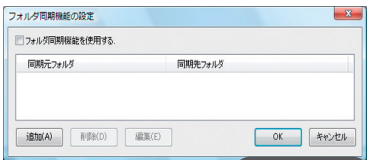
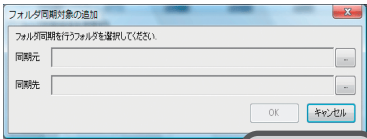
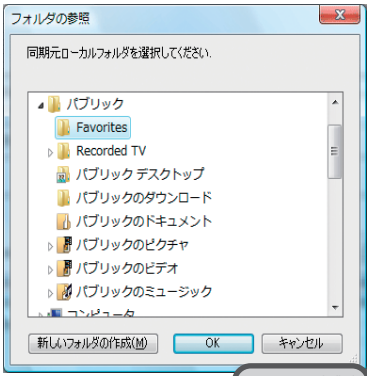
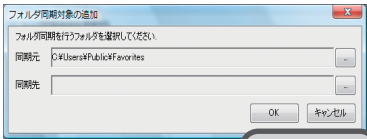
・1 つの連結元フォルダーに複数連結先フォルダーを指定することはできません。

・フォルダー連結設定を行ったユーザーとは別のアカウントで Windows にログインすると、フォルダー連結設定は無効になりますが、連結元フォルダーは別アカウントのユーザーからも見えます。別アカウントのユーザーから見えないようにしたいときは、アカウント名固有のフォルダー (マイドキュメントなど) を連結元に設定することをおすすめします。

・アクセス制限されたフォルダーへのフォルダー連結機能はサポートしておりません。

・複数ユーザーが同一のネットワークフォルダーを連結先として設定していた場合、複数ユーザーからの読み書きはネットワーク上の共有フォルダーを読み書きする場合と同一となります。連結先のフォルダーは共有フォルダーとして動作します（他ユーザーが書き込んだものも連結元から見えます）。

フォルダー同期機能

< フォルダー同期機能とは >

フォルダー同期機能では、TeraStation の共有フォルダーとパソコンのローカルフォルダーを同期させ、自動的にローカルフォルダーのファイルを TeraStation にアップロードすることができます。

フォルダー同期を使用するには、次の手順で設定します。

1 デスクトップの [BUFFALO NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。
NAS Navigator2 が起動します。

2

[フォルダー同期] をクリックします。

NOTE : Windows 7/Vista/XP/2000、Windows Server2003 以外の OS では、[フォルダー同期] は表示されません。

3

[追加] をクリックします。

4

[同期元] の右端にあるボタンをクリックします。

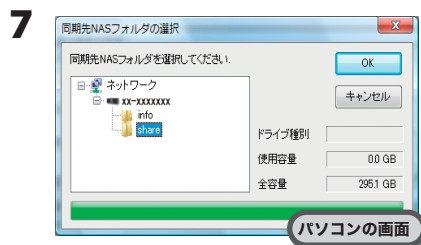
5

1 同期元にするパソコンのローカルドライブ内のフォルダーを選択します。

2 [OK] をクリックします。

6

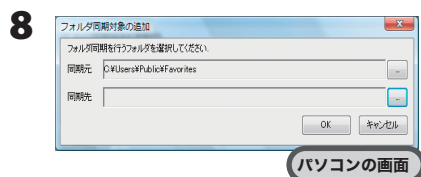
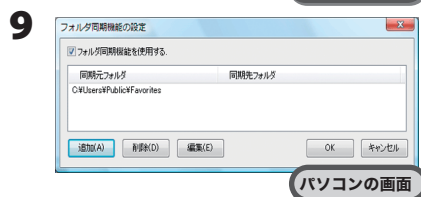
[同期先] の右端にあるボタンをクリックします。

7

1 同期先にする TeraStation 内のフォルダーを選択します。

2 [OK] をクリックします。

8

[OK] をクリックします。

9

[OK] をクリックします。

以上でフォルダー同期機能の設定は完了です。

NOTE : ・フォルダー連結と同じ設定をフォルダー同期に設定することはできません。
・フォルダー同期を設定できる数は最大 10 個です。
・1 つの同期先フォルダーに複数同期元フォルダーを指定することはできません。
・1 つの同期元フォルダーに複数同期先フォルダーを指定することはできません。
・フォルダー同期機能は、同期元フォルダーへのファイル・フォルダー作成、書き込みを監視し、同じ操作を同期先フォルダーに対して行います。同期先フォルダー内のファイルを別途更新しても、同期元フォルダー内の同名ファイルを更新した時点で、同期先フォルダー内のファイルは同期元フォルダー内のファイルと同じ内容となります。同期元でのファイル操作が同期先に反映されます。
・同期先のフォルダー（TeraStation 上の共有フォルダー）を複数のネットワークユーザーが読み書きする場合の排他処理はネットワーク上の共有フォルダーを読み書きする場合と同一となります。同期先のフォルダーは他ユーザーには共有フォルダーとして動作します。
・アクセス制限されたネットワークフォルダーの認証はユーザーの接続開始時またはシステム起動時にのみ行われます。認証に失敗した場合は、次回ユーザーの接続時またはシステム起動時でないと再度ネットワーク接続認証は行われません。エクスプローラーからのアクセスとは違いフォルダーにアクセスする時に認証が行われるわけではありません。
・複数のユーザーが同一のネットワークフォルダーを同期先として設定していた場合はファイル名の重複などが発生する可能性があるため、動作を保証できません。
・複数のネットワークユーザーが同一のネットワークフォルダーを同期先として設定していた場合、ファイル名の重複などが発生する可能性があるため、動作を保証できません。
・同期先フォルダーは個別のユーザーしか書き込みアクセスできないような設定を行っておくことをおすすめします。

付録

出荷時設定

TeraStation は出荷時に以下のように初期設定されています。

●管理者名：Administrator

●パスワード：password

●共有フォルダー：設定されていません。

● DHCP クライアント
DHCP サーバーがネットワーク内にある場合は自動取得します。
DHCP サーバーがネットワーク内に無い場合は、次のように自動設定されます。
IP アドレス：169.254.xxx.xxx(xxx は TeraStation 起動時に任意の数値が割り当てられます。)
ネットマスク：255.255.0.0

●登録グループ：設定されていません。

● Microsoft ネットワークワークグループ設定：WORKGROUP

● RAID モード：C ドライブ：ディスク 1 、 2 のミラーリング
D ドライブ：ディスク 1、2、3、4 の RAID5 モード

液晶ディスプレイ表示一覧

TeraStation 本体前面には液晶ディスプレイが装備されています。表示内容は以下のとおりです。

通常表示

通常表示は、TeraStation 前面のディスプレイ切替スイッチを押すことで、表示を切り替えることができます。また、P.8「LCD 表示設定」で表示項目を設定することもできます。

液晶表示例		内容
LINK SPEED	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ 　　Ｎｏ　ＬＩＮＫ	ネットワークに接続されていません。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ 　１０Ｍｂｐｓ	10Mbps で接続されています。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ 　１００Ｍｂｐｓ	100Mbps で接続されています。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ 　１０００Ｍｂｐｓ	1000Mbps 全二重接続されています。
ディスク容量	ＨＤＤ　　　　　　　　＾ ＵＳＥＤ　　　Ｃ＿＿Ｄ■Ｅ█Ｆ█	TeraStation に内蔵されているハードディスクの領域 C、D、E、F の使用容量を棒グラフで表示します。DiskFull 状態のハードディスクには「^」が表示されます。
HOST 名・IP アドレス	ＷＳ－ＱＬｘｘｘ １９２.１６８.１１.１５０	HOST 名と IP アドレスを表示します。
カレンダー時計	ＤＡＴＥ　　　　　ＴＩＭＥ ２００９／０９／１７　１１：１１	TeraStation に設定されている日時を表示します。
搭載ＯＳ	Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｓｔｏｒａｇｅ Ｓｅｒｖｅｒ　２００３　Ｒ２	TeraStation に搭載している OS 名が表示されます。
HDD 温度	Ｄ１：--℃　Ｄ２：--℃ Ｄ３：--℃　Ｄ４：--℃	TeraStation に内蔵している各ハードディスクの温度を表示します。

エラー表示、警告表示

ファンの回転数や TeraStation の内部温度の異常、ハードディスクが見つからないとき、TeraStation 前面の液晶ディスプレイに次のように表示れさます。

液晶表示例	内容
ＳＹＳＴＥＭ　Ｅｒｒｏｒ　Ｅ１１ Ｆａｎ　Ｆａｌｕｒｅ	ファンの回転数に異常があります。 ファンに異物や埃がないか確認してください。異物や埃があったときは、ピンセットやエアダスター等で除去してください。再度エラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
ＳＹＳＴＥＭ　Ｅｒｒｏｒ　Ｅ１２ Ｃｏｏｌｉｎｇ　Ｆａｉｌｕｒｅ	システムの温度上昇が、保障値を超えました。TeraStation の回りに物を置かないでください。または設置場所を涼しいところに移動させてください。
ＨＤｘ　Ｅｒｒｏｒ　　　Ｅ１６ ＨＤｘ　Ｎｏｔ　Ｆｏｕｎｄ	x 番のハードディスクが見つかりません。x 番のハードディスクが接続されていない、または x 番のハードディスクが故障している可能性があります。ハードディスクの交換をしてください。